



炉端の会
2019.02

「炉端の会」のひとり言-1

◇昨年末に「炉端の会」15期で横浜市の古民家を二回に分けて訪ねました。

11月26日(月)は、

戸塚駅集合で、舞岡公園小谷戸の里(旧金子家住宅)、天王森泉公園(旧清水製糸場本館)を見学、参加者10名。



(旧金子家住宅)



12月20日(木)は、

センター北駅集合で、都筑民家園(旧長沢家住宅)、大塚・歳勝土遺跡、横浜市歴史博物館(企画展「神奈川の記憶」展)を見学、参加者8名。



(大塚・歳勝土遺跡の復元住居)



(都筑民家園の旧長沢住宅内部)

横浜市の古民家は市民の方(NPOや運営委)が市から運営を委託され多彩な催事で知られています(舞岡公園全体の雑木林維持管理まで含めた市民の年間活動人数は炉端の会の約3倍)。

実際に運営されている方にご案内いただき熱い想いや運営方法などお聞きしました。両日とも他期の方が参加してくださり交流を深めました。



炉端の会
2019.02

「炉端の会」のひとり言-2

◇1月13日(日曜)に北村家で豊作祈願の小正月行事の実演と「まゆ玉飾り」の体験などが行われました。

その前日(1月12日)に「炉端の会」の手でまゆ玉作りに必要な湯を羽釜で沸かすための準備作業が進められました。

①水道の準備



(北村家の裏に仮設の水道台を設置)

②大釜を洗う



(長期間未使用の大釜を洗う)

③カマドを乾燥させる



(羽釜に水を入れカマドにのせて火を焚く)

大きな羽釜にはバケツ4杯、小さな羽釜にはバケツ1杯の水を入れましたが、お湯が沸騰するまでに大きな方は約120分、小さい方は50分かかっていました。

「まゆ玉飾り」(1月13日)



(色々な「まゆ玉」)



(豊作を願い農産物に見立てた「まゆ玉」)



(豊作祈願の飾りを造っているところ)



(「まゆ玉」を飾り付けをしている様子)



(完成した「まゆ玉飾り」)